京都大学教育研究振興財団助成事業 成 果 報 告 書

平成24年 4月 27日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団 会 長 辻 井 昭 雄 様

所属部局•職名	京都大学渉外部長
17 1141 F14 F14	71, 11, 7, 1, 11, 7, 1, 11, 12, 12, 12, 12, 12, 12, 12, 12,

助成の種類	平成 23 年度 ・ 人材育成助成		
事 業 名	京都大学未来フォーラムの開催		
実 施 期 間	平成23年6月15日、7月13日、9月30日、12月6日、平成24年1月27日		
実 施 場 所	京都大学百周年時計台記念館		
参 加 者	総数1,902名	内 訳 6/15 465名、7/13 334名、9/30 370名 12/6 322名、1/27 411名	
成果の概要	「成果の概要」以外に添付する資料 ■ 無 □ 有()		
	事業に要した経費総額	2, 028, 125円	
	うち当財団からの助成額	1, 700, 000円	
	その他の資金の出所(株	機関や資金の名称) 京都大学 大学運営費	
	経費の内訳と助成金の使途について		
	費目	金 額 (円) 財団助成充当額 (円)	
会 計 報 告	印刷製本費	757,785 757,785	
	通信運搬費	381,192 381,192	
旅費•謝金		430,720 430,720	
	施設使用料	328,125 0	
消耗品等 		130,303 130,303	
		·	
	·	·	
1	合 計	2,028,125 1,700,000	

渉外部長 河野 忠男

【京都大学未来フォーラムの実施状況について】

「京都大学未来フォーラム」は、「京都大学教育研究振興財団」の後援を得て、京都大学の第2期「中期目標・中期計画」の柱に掲げられている教育計画の実現に資する事業として開催しているものである。

実施にあたり、国際的視野、社会・経済の変化に対応しうる幅広い視野で活躍されている 方々を講師に招き、講演と意見交換の場を提供することにより、本学学生に対する学習・研 究意欲を涵養する事業の一つとし、企業や官庁、国際機関、NGO、大学・研究機関、マス メディア、文化・芸術など様々な分野で活躍する方々を通して得られる社会からの情報還元 により、学生自身が社会・経済及び文化に対応し得る幅広い視野と総合的な判断力を養い、 社会の中で幅広く物事に対処できる自己の確立、また、学生自身の学習・研究への意識や意 欲の向上を図ることにより、自学自習の中での自己研鑽及び意識改革へとつなげることを効 果として期待している。

平成23年度は、京都橘大学名誉教授の田端泰子氏、株式会社はてな代表取締役社長の近藤淳也氏、能楽金春流シテ方の金春康之氏、東京大学先端科学技術研究センター特任教授の米本昌平氏及び慶應義塾大学総合政策学部教授の上山信一氏と様々な分野から講師を迎え5回のフォーラムを開催した。各講演終了後には質疑応答の時間を設けており、活発な質問が行われた。

フォーラムには、5回で延べ1,902名の参加者があり、1回当たりの開催について380名の参加者があった。参加者の意見聴取については、毎回フォーラム終了後にアンケートを実施し、今後どのような分野の講師を希望するか等の意見を参考にしている。